

がんばろう! 熊本



今、私たちができることは・・・

●ジャパン使役犬活動センターの支援活動

あの東日本大震災から5年が経過した今年の3月、私たちはいまだ復興の途上にあり、その傷跡が癒されることのないことを実感していた。信じられない規模の大地震に襲われ、その地震に続く津波、そして放射能汚染と、地震災害に勝るとも劣らない悪夢・悲劇が繰り返されたことを、私たちは決して忘れることができない。

そして再び、大地震のあとに続きそれを大きく上回る震度7の地震に見舞われることになったのは熊本を中心とする九州地方であった。

「近代観測史上、聞いたことがない」と気象庁担当官が絶句した群発地震。私たちはテレビのニュースを見て、5年前の東日本大震災で被害を被った人々、そしてその家族の一員である愛犬、愛猫のことが脳裏をかすめ、今日の前に映る熊本の、そして大分の悲劇に震え、被災している犬、猫、動物たちに思いを馳せた。

本協会の加盟クラブで佐世保市の松尾警察犬訓練所内にある「九州 DOG HOUSE」の代表である松尾晴美氏が理事長を務める NPO 法人 ジャパン使役犬活動センター（通称 JSK ジェシカ）は、4月16日、いち早く現地にレスキュー活動に赴きました。16日と言えば、午前1時25分にマグニチュード7.3の地震が発生し、熊本県益城町と西原村で震度7を記録した直後であり、その勇気ある行動には感嘆の一語です。ジャパン使役犬活動センターのフェイスブックでの報告を表紙に掲載の写真とともに転載します。

●ジャパン使役犬活動センター（JSK ジェシカ）のご報告です。

私達、内閣 NPO ジャパン使役犬活動センターは、皆様からの温かいご支援で物資を熊本市立桜木小学校に避難されている方々、御船町在住の方々に無事に届けることができました。感謝致します。水、300本、タオル200枚、マスク千枚、消毒液、ウエットティッシュ、お菓子、他。また、夜は熊本県益城町にて警察犬、警備犬を連れてのパトロールを実施（窃盗、他をふせぐため）。パトロールは不足しているらしく是非ともまたお願いしてもらいたいという声があがりました。使役犬活動センターの会員の皆様もパトロールされたいかたは使役犬活動センターまでご報告ください。

ジャパン使役犬活動センターはこれからも何度か足を運び、パトロールを実施する予定。

